

プラスチック原料の高濃度・高拡散マスターバッチを開発・販売 株式会社スリーエス

家電・雑貨・包材・建材・アミューズメント・電子電材等多方面に使われるプラスチック。さまざまな形態や色に加工されるプラスチック（合成樹脂）用の添加剤、着色剤、輸入品着色剤の商社として販売を行う株式会社スリーエス。工場と共同開発した高濃度・高拡散マスターバッチの販売も手がける。



で採用された。採用されるまでには開発部の試験・工場でのテスト・長いスパンでの工場テストなど数々の試験をクリアしなければならなかった。

「工場でのテストチャンスは少ないので緊張したが無事クリアできた。現在は導入していただいて非常にいいと評価を受けている。トラブルもなくストレスを感じずに使っていただいている。このマスターバッチはお客様のニーズに合わせて製品を作ることができるのが強み。食品トレー業界以外のOA機器関係や包装資材関係にも使えるよう試作を行っている。」と今後の横展開を目指している。



樹脂用着色剤。カラーバリエーションも豊富にある

合成樹脂添加剤の帯電防止剤や防錆剤なども展開

各種合成樹脂添加剤の帯電防止剤や防錆剤などの展開も行っている。帯電防止剤は携帯電話の組立工場で電子部品を入れるトレーに使われる。プラスチックに帯電防止剤を練り込むことで電子電材に埃が付きにくくなるものだ。

防錆剤はシートやフィルムに練り込まれH鋼や自動車の部品の輸出等の輸送用に使われる。以前は紙に浸漬処理したものを巻いて使用されていたがプラスチックのシートやフィルムで軽量化された。

ほかにも無機フィラー、抗菌剤、耐候剤、光拡散剤など多品種に試験も行っている。

「当社はメーカーではないので実際に製品を作ることはできないが配合ノウハウや商品の中身を熟知しているので、最終製品に応じたコンパウンドを作ることができる。お客様の商品バリエーションを増やすお手伝いができる」と自負している。」と添加剤の拡販にも力を入れる。

一方で酸化チタンは光を反射するためコピー機の部品として使われている。また、モップやマットなどの合成樹脂製品の成型品の受託生産も開始した。

「現在に至るまでさまざまな方のご縁で仕事ができていることに感謝している。今後も人と人のつながりを大切に事業展開していきたいと思う。将来的には自社設備で製品開発を実現させたい。生産を委託すると見えない部分もあるので、ずっと目の届くところでモノづくりがしたいという思いがある。いつか自分で最後まで作れるように頑張っていきたい。」と夢を語ってくれた。



携帯電話や化粧品のケースなどに使用される加飾剤。ラメがキラキラと含まれたプラスチック製品が作れる



リーマンショック後の逆風の中での独立

代表取締役の中山登史氏は23年間コンパウンドメーカーでプラスチックにかかわる着色、添加剤等のコンパウンドのノウハウを学び、2009年に独立。創業当初はリーマンショック後で景気が低迷。苦労の連続だったという。「景気が悪くなってコストカットの意識が強い中で、新規参入することの難しさを痛感した。独立して一番大変だったのは仕入れだった。今までは勤めていた会社の看板があったから取引でできていたが個人の私に誰もモノを売ってくれない。売ってもらうには現金が必要になるため、大きな商売にできないのでジレンマがあった。わかってはいたつもりだったが信用の大切さを実感した。」

しかし、救いの手が差し伸べられた。「以前の会社の取引先の方が広島で独立されていて、着色剤メーカーを紹介してくれた。ほかにも独立した私を気に掛けてくれた人がメーカーや取引先を紹介してくれた。そのお陰でなんとかやってこられた。人と人とのつながりのありがたさを実感した。」と振り返る。

タイや韓国から輸入する着色剤を販売

設立2年目からタイ産の黒のカーボンマスターバッチ、韓国産ホワイトマスターバッチの輸入販売を開始した。マスターバッチとはプラスチックに高濃度の着色剤を練り込み、プラスチックの成型時に規定の倍率で希釈する樹脂用着色剤のことだ。コストパフォーマンスに優れ、形状がペレットや粒などになっているので取扱いの容易性を兼ね備えている。

しかし、国内での販売を拡大していこうとする矢先に問題が起こる。海外産のマスターバッチを納品した工場からクレームが発生したのだ。

「取引先は幅1m厚み0.5mmのプラスチックシートの加工を行っていた工場。納品したマスターバッチに含まれているカーボンの分散が悪くシートの表面にカーボンの塊がブツツになり、それが原因でシートに穴が空いていた。1時間に500kgも生産されるので穴が空くと大量の不良品の山ができる。すぐに原因を調べたが海外の工場は責任を認めないし、当社も現地で生産現場にずっとついて見ているわけではない。海外の工場は『問題はなかった』と主張を繰り返し、解決するための議論に至らず大変だった。お客様には迷惑をかけられないので当社が補償を行った。在庫も大量にあったが販売できず無駄になるなど高い勉強代になった。」

それからは輸入品に関して厳選した製品の取扱いを行っている。このことがきっかけとなり国内生産できる工場がないかと考えるようになった。

今までにない高濃度・高拡散のマスターバッチを開発

国内生産できないか模索しながら数年後。技術力の高いコンパウンドメーカーとの出会いがあり、2013年に高濃度・高拡散マスターバッチの共同開発を行った。それまで酸化チタンが50～60%程度のマスターバッチが一般的だったが、同社では酸化チタン70%のマスター



バッチの配合を企画。今までより拡散性の高いものを目指した。

一般的な60%のマスターバッチは成型時と比較して添加量が少なくすむ、70%のマスターバッチができれば今までよりコストカットにつながる商品になる。

「これまで酸化チタン70%のマスターバッチを作ることは難しかった。普通の機械で行うとポロポロになってしまうからだ。しかし、タイアップ先の工場にある特殊機械による混練方法で高い拡散性のものが完成した。」と中山氏は語る。

新たに開発した酸化チタン70%のマスターバッチは食品トレーのメーカー

酸化チタン70%含有マスターバッチ。食品トレー・自動車部品。静電気を防止するため。パチンコの台などさまざまなプラスチック製品に使用される。一般的な60%のものよりも純分がリッチで拡散性も高く好評。ペレット状で扱いやすい

PS帯電防止剤マスターバッチ。静電気を防止するため。プラスチックに埃が付きにくくなる。電子部品工場で使用される。乗せるトレーなどに使用される

株式会社スリーエス

代表取締役 中山 登史男

〒541-0046
大阪府大阪市中央区平野町1-8-13
平野町八千代ビル4F
TEL：06(6202)3477
FAX：06(6202)3478



【事業概要】

- ・合成樹脂コンパウンドの受委託生産販売
- ・各種プラスチックカラーの販売・各種合成樹脂原料の販売・化成品販売
- ・各種合成樹脂原料の輸出入
- ・光学用原料コンパウンド及びマスターバッチの販売
- ・プラスチック加工機械の販売等